

中レ研だより



令和4年 7月号(No.1) 発行 LD等支援教育研究会

中学校LD等支援教育研究部会が2年目を迎えることができました。今年度は114名の方に会員になっていただきました。

研究部会では、通常学級で支援が必要な生徒への教育の推進及び充実・発展を図ることを目的としています。活動としては、LD等支援教育の理論や実践の研究、及び調査やLD等支援教育についての研究会や研修会、及び講演会協議会等の開催を行います。また、通級・UD・ICTの研究部門を設置し、実践的研究及び推進を図ってまいります。

6月27日に第1回の研修会・総会がありました。第1回総会に先立って、



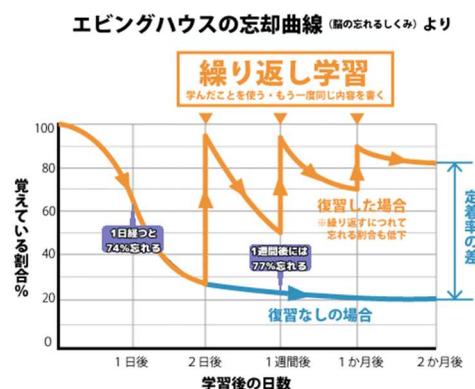
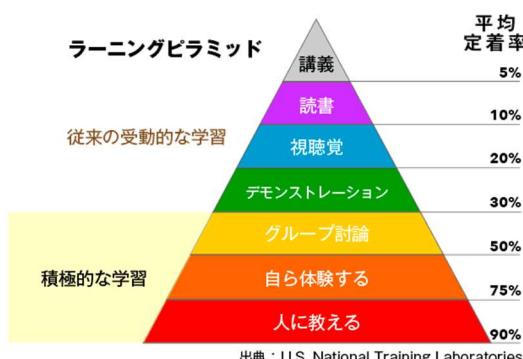
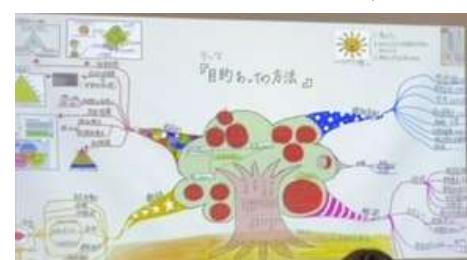
との演題で、千代 優樹 先生 よりご講演いただきました。

現在は、桃陽総合支援学校の通級支援チームとしてご活躍されております。昨年度まで大宅中学校で11年間、通級指導を担当され、その経験に基づいたお話をいただき、大変充実した時間となりました。

はじめに、「目的あっての方法」というテーマでした。「自分が選んだ方法ならそれは正解で、少しずつ伝わっていく」という言葉が印象に残りました。

左の写真は、千代先生が書いた「感覚統合の木」です。「安心感・信頼感・愛着」と木の根っこにはあります。この3つを充実させることで、幹が太くなり、枝が大きくなる。そして、しっかりととした実がなります。

さらに、「ラーニングピラミッド」や「エビングハウスの忘却曲線」などのお話しをしていただきました。



そして、大切なことは、

1. 夢や志を持っているのか
2. それを叶えるための効果的な方法を知っているのか
3. 自分にはできる信じさせることができるのか

とおっしゃっていました。

千代先生ありがとうございました！



<幹事長より（衣笠中学校 通級担当 小山享子）>

お忙しい中、第1回中L研の総会にご参加いただきありがとうございました。

「よりそい～連携から協働へ～」を研究テーマに 通常学級で支援が必要な生徒への教育の推進及び充実・発展を目指していきます。通級指導教室から通常学級につながる支援教育を目指す取組を軸にし、今年度の取組として個別の指導計画について研修し見直していきたいと考えています。

また、LD等支援教育の視点からGIGAスクール構想へのアプローチとして夏季研修会に京都府立清明高等学校の特別支援コーディネーターをされています、木下亜希子先生にご講演をいただきます。

先日、打ち合わせに伺いました。清明高校の取組をお聞きしているといつの間にか2時間が過ぎていました。ぜひ、皆様にもお聞きいただきたい内容になっています。募集案内をご覧いただきご参加ください。



中L研夏季研修のご案内

8月2日（火）9時30分～総合教育センター

テーマ「ICTを活用した教育実践」

～ユニバーサルデザインと学習に困難が見られる生徒への支援～

講師 木下亜希子先生

（京都府立清明高等学校 特別支援コーディネーター）